

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和6年12月13日(金曜日) 第3425号
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
毎週金曜日発行 編集発行人 石母田 健
購読料 6ヵ月 14,300円(税込)
振替番号 東京4-71739
発行所 株式会社日刊経済通信社
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

11月の飲料市場4%減

値上げ影響強く、年間前年並みに向け正念場

2024年11月の清涼飲料市場は、数量ベースで4%減(累計前年並み)だった。10月から始まった値上げが徐々に店頭で反映され、消費意欲の減退に繋がった模様。年間前年並みは際どい状況にある。

天候面では前年同月並みかつ暖かめの気温で、コールド商材にとっては追い風だったが、値上げ影響には勝てず。当然ホット商材にとっては良くない環境で、「下旬は気温が下がり、少し動きが良くなったかも」(業界関係者)との感覚については地域差がかなりありそうだ。カテゴリ別で健闘したのはミネラルウォーターぐらいだが、それでもメーカー別ではバラついた。「ECでの箱買いが多い」ことから推

察すると、生活用水としての需要に支えられた形だ。

12月は中旬に入る辺りから全国的に気温が下がっており、ホット商材に期待。ただ、SOT缶コーヒ―は値上げが一巡していることからある程度は計算できそうだが、コーヒ―以外のカテゴリも含むPETは値上げの真つただ中で不透明感が否定できない。さらにスポーツドリンク、乳酸菌入りは体調管理需要が見込めるが、いずれにしても例年通りの予測であり、値上げ影響を跳ね返せるかはわからない。年間前年並みに向け、文字通り「最後の正念場」となる。

主な内容

11月の清涼飲料市場	12面
ワインニュース⑤	1213面
(スマイル、国分グル)	
キリンブランドを通して	15面
社会とつながる③	

ダイドー秋冬コーヒ―	3面
ドリンク「カルピス」	5面
アサヒ「カルピス」	5面
カリッピ「午後の紅茶」	14面
Mizkan社長対談	2面
菊正宗酒造社長対談	2面
水産フスマイ、エグド	11面
東洋フスマイ、エグド	11面
原料商品情報	89面

「ミューズグリーン」が寄与。

大塚グループ全体21%減(1%減)。「ポカリスエット」23%減(4%減)、「オロナミンC」39%減(3%増)。一方で「ボディメンテ」順調。ウォーター類12%減(14%減)、「マッチ」4%減(7%増)。

ダイドー全体2%増(8%減)。稼働日が前年同月よりも2日多かった。8月に値下げした「ダイドーブレンド 絶品」は堅調な推移。コラボ品の「ミスティオ ENHY PENレモンスカッシュ」も好調(本紙推計)。

ポッカサッポロ全体7%減(6%減)。コーヒ―15%減(16%減)、果汁6%増(7%増)、うちレモン11%増(8%増)で「キレイトレモン」18%増(12%増)、びん、PETとも順調。炭酸16%減(13%減)も「北海道富良野ホップ炭酸水」(2面に続く)

コカ・コーラシステム全体前年並み(2%増)。前年同月が前年並みとベ―スは高くなかった。「綾鷹」の好調は維持(本紙推計)。サントリー全体4%減(1%減)。「天然水」1%増(3%増)は1ℓ新容器が貢献。「ボス」6%減(6%減)は「クラフトボス」甘くないイタリアノ好調。「伊右衛門」4%減(4%減)。「グリーンダカラ」8%減(5%減)は「やさしいルイボス」が良い。特定保健用食品・機能性表示食品4%増(6%増)で「伊右

衛門」の「濃い味」「特茶」けん引。アサヒ全体9%減(2%減)。「三ツ矢」20%減(2%増)、「ウイルクイン」14%減(1%増)。「カルピス」はストレート10%減(5%減)、コンク1%減(9%増)。「ワンダ」前年並み(5%減)。「十六茶」14%減(1%増)。「おいしい水」6%減(2%増)。「バヤリース」44%減(30%減)。「ウエルチ」2%減(10%減)。ラベルレスは33%減(12%増)の64万箱(891万箱)。

社名	11月	1~11月
コカ・コーラ	※100	※102
サントリー	96	99
アサヒ	91	98
伊藤園	※95	※99
キリン	95	104
大塚	79	99
ダイドー	※102	※92
ポッカサッポロ	93	94
総市場	96	100

※は当社推計

伊藤園全体5%減(1%減)。日本茶11%減(1%減)で「おっいお茶」「健康ミネラルむぎ茶」とも苦戦。ほかの茶系は良くジャスミン、黒豆が貢献。野菜13%減(6%減)。コーヒ―3%増(6%増)で「タリーズ」のキーマンジャロが統伸。ミネラルウォーター57%増(17%増)は国産がけん引(本紙推計)。キリン全体5%減(4%増)。「午後の紅茶」4%減(前年並み)、「生茶」10%減(15%増)、「ファイア

ア」8%減(5%増)。「トロピカーナ」18%減(23%減)。「ミネラルウォーター」16%減(17%増)。「プ」ラズマ乳酸菌入り飲料29%増(6%増)は新製品「イ

